



## 2020年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年5月15日

上場会社名 ダントーホールディングス株式会社  
 コード番号 5337 URL <https://www.danto.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長  
 四半期報告書提出予定日 2020年5月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 加藤 友彦  
 (氏名) 前山 達史  
 TEL 06-4795-5000

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第1四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	1,403	0.8	107		114		125	
2019年12月期第1四半期	1,392	2.5	80		66		1	

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 90百万円 ( %) 2019年12月期第1四半期 3百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	4.23	
2019年12月期第1四半期	0.04	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第1四半期	13,012	9,901	73.4
2019年12月期	13,267	9,994	72.7

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 9,554百万円 2019年12月期 9,646百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		0.00	0.00
2020年12月期					
2020年12月期(予想)		0.00		0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,800	2.3	170		150		180		6.07
通期	5,700	7.2	250		200		270		9.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期1Q	30,000,000 株	2019年12月期	30,000,000 株
期末自己株式数	2020年12月期1Q	334,369 株	2019年12月期	334,369 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期1Q	29,665,631 株	2019年12月期1Q	29,665,690 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2 -
(1) 経営成績に関する説明	2 -
(2) 財政状態に関する説明	2 -
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2 -
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3 -
(1) 四半期連結貸借対照表	3 -
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5 -
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7 -
(継続企業の前提に関する注記)	7 -
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7 -
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7 -
(セグメント情報等)	7 -
3. その他	8 -
継続企業の前提に関する重要事象等	8 -

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用情勢、所得環境は回復基調で推移していましたが、消費税率の引き上げの影響、また、新型コロナウイルス感染拡大に伴う経済活動の停滞により先行き不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、タイル事業につきましては、販売体制の強化及び指定力の向上を図るとともに、高付加価値商品の拡販による利益率の改善に努め、前年同四半期を上回る結果となりました。

一方、不動産事業につきましては、当第1四半期連結累計期間は前年同四半期を下回りましたが、引き続き新規顧客の開拓等により安定的な収益の確保に努めて参ります。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は14億3百万円（前年同四半期13億9千2百万円）、営業損失1億7百万円（前年同四半期8千万円）、経常損失1億1千4百万円（前年同四半期6千6百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億2千5百万円（前年同四半期1百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## イ. 建設用陶磁器等事業

当第1四半期連結累計期間において、建設用陶磁器等事業の売上高は12億7千2百万円（前年同四半期11億9千7百万円）、営業損失は1億1千3百万円（前年同四半期1億7千万円）となりました。

## ロ. 不動産事業

当第1四半期連結累計期間において、不動産事業の売上高は1億5千3百万円（前年同四半期2億1千7百万円）、営業利益は7百万円（前年同四半期9千1百万円）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末において総資産は、投資有価証券が1億1千7百万円増加しましたが、現金及び預金が2億9千万円及び未収入金が5千8百万円減少したこと等に伴い、前連結会計年度末に比べ2億5千5百万円の減少となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金が1億6千7百万円減少したこと等により、1億6千1百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金が1億2千5百万円減少したこと等の結果、9千3百万円の減少となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型コロナウイルス感染症による業績に与える影響は軽微でありましたが、今後、経済活動の停滞により先行き不透明な状況であります。

建築業界におきましても、着工済の物件については工期延期、新規物件については受注を控え、また、新規投資や消費を抑えるといった状況が続くと予想しております。

このような環境の中、当社グループの業績につきましては、現時点で不確実な要素が多く合理的に見積もることが困難であるため、2020年2月14日付けで公表いたしました連結業績予想値を据え置いております。

今後、新型コロナウイルス感染症による業績に与える影響額の合理的な見積もりが可能となり次第、2020年4月24日に公表しました、第2四半期連結会計期間に計上予定の特別利益（投資有価証券売却益）360百万円を踏まえ公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	918	627
受取手形及び売掛金	1,185	1,132
商品及び製品	1,220	1,201
仕掛品	72	70
原材料及び貯蔵品	62	61
未収入金	99	40
その他	29	39
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	3,587	3,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	844	828
機械装置及び運搬具(純額)	356	342
工具、器具及び備品(純額)	30	29
土地	291	291
リース資産(純額)	15	27
建設仮勘定	—	36
有形固定資産合計	1,537	1,556
無形固定資産		
のれん	87	81
ソフトウェア	153	156
その他	12	12
無形固定資産合計	252	249
投資その他の資産		
投資有価証券	6,726	6,843
長期貸付金	1,000	1,000
繰延税金資産	20	22
その他	186	210
貸倒引当金	△44	△44
投資その他の資産合計	7,889	8,032
固定資産合計	9,679	9,838
資産合計	13,267	13,012

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	555	388
短期借入金	250	337
リース債務	3	5
未払金	310	167
未払法人税等	37	11
賞与引当金	—	29
災害損失引当金	251	246
その他	72	35
流動負債合計	1,480	1,221
固定負債		
リース債務	11	21
繰延税金負債	468	550
退職給付に係る負債	411	416
長期預り保証金	882	882
資産除去債務	17	17
固定負債合計	1,792	1,889
負債合計	3,272	3,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,635	1,635
資本剰余金	1	1
利益剰余金	7,147	7,021
自己株式	△104	△104
株主資本合計	8,679	8,554
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	963	995
為替換算調整勘定	3	4
その他の包括利益累計額合計	966	1,000
非支配株主持分	348	346
純資産合計	9,994	9,901
負債純資産合計	13,267	13,012

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,392	1,403
売上原価	929	991
売上総利益	463	412
販売費及び一般管理費	544	520
営業損失(△)	△80	△107
営業外収益		
受取利息	11	11
仕入割引	4	3
為替差益	2	—
その他	3	1
営業外収益合計	21	16
営業外費用		
支払利息	2	1
売上割引	1	1
為替差損	—	17
租税公課	3	2
減価償却費	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	8	24
経常損失(△)	△66	△114
特別利益		
投資有価証券売却益	79	—
特別利益合計	79	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	12	△114
法人税等	10	8
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△123
非支配株主に帰属する四半期純利益	3	2
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1	△125

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1	△123
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	30
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益合計	△5	32
四半期包括利益	△3	△90
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△7	△91
非支配株主に係る四半期包括利益	3	1



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用陶磁器 等事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,197	195	1,392	—	1,392
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21	21	△21	—
計	1,197	217	1,414	△21	1,392
セグメント利益又は損失(△)	△170	91	△78	△2	△80

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円には、たな卸資産の調整額が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設用陶磁器 等事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,272	131	1,403	—	1,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	21	21	△21	—
計	1,272	153	1,425	△21	1,403
セグメント利益又は損失(△)	△113	7	△105	△2	△107

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△2百万円には、たな卸資産の調整額が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. その他

## 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループには、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しておりますが、これは1億7百万円の営業損失を計上しているためであります。

このような状況の中、当社グループの取り組みといたしましては、タイル事業につきましては、販売体制の強化を図り、指定力向上に努めるとともに、高付加価値商品の拡販による利益率の改善に努め、生産工場におきましては、稼働率の改善による原価低減を図って参ります。

また、不動産事業につきましては、引き続き新規顧客の開拓による更なる事業拡大に努め、タイル事業への相乗効果を高めるとともに、遊休不動産の活用も引き続き進めることにより赤字体質からの脱却を目指し、当第1四半期連結累計期間計上の営業損失1億7百万円を早期に解消し、営業黒字体質の構築に取り組む所存であります。

なお、資金面に関しては、急激な市場環境等の変化に対応するための現金及び預金を中心とした金融資産を有しております。